害することなく、護謨にも障碍はない。一時に澤山消毒しておいて四週間以上も無菌的に保存が出来る。此の「サグロタン・ワヅフォルム」法を應用して以來、護謨手袋の消費量は約六〇%減少した。高壓滅菌手袋であるが、既に三回の滅菌後には駄目になるが、本法による三十回の無菌後にも丈夫で弾力性がある。

「サグロタン」の價は四疋一七・六〇RM、「ワヅフォルム」末は五疋一四RMである。

要之、消毒法として護謨手袋の「サグロタン・ワヅフォルム」法を用ふる時は在來の高壓滅菌法は不必要であつて、而も實地にその利益は保證され、細菌學的實驗にても確證されたのである。(田邊抄)

脊柱彎曲の簡単な治療器具

Dr. J. Bergmann 述(Hippokrates Nr. 17, 1937.)

ベルグマン氏は脊柱彎曲症の原始的簡単な一治療を記載してゐる。初期脊柱彎曲症は學童期に頻回検査するときは容易に發見し得られるが、然しその治療には大きな困難を伴ふ場合が少くない。殊に田舎の家庭にて必要な理解・養護を缺如する場合の如きに然りとする。有力なる補助は學校に求むべきであるが之も亦大抵、所患兒童を託すべき時間・機會を失つてゐる。

ベルグマン氏の發表せる確實簡易な方法は之に活路を提供してゐる。

る。之に要する唯一の器具は田舎の指物師でも容易に造り得られる木の鞆繩床几(Schankelscheme)である。診査中に兒童の彼方此方に動搖することによりて床几の斜位即ち丁度そのまき彎曲の平衡に到達される位置が發見される。此の平衡位置に在る坐面に於て床几縁端からの距離を測定し記標しておく、毎日學校にて一、二時間、この床几に於て運動を行はせて自動的に脊柱を眞直にし同時に背筋練習の目的を達せしめる、乃ち床几の斜傾坐面に於て必要な直立姿勢は筋肉運動によりてのみ達成される。尙又此の鞆繩床几は多數の子供の治療に用ひられる、何となれば一兒童につき一日一乃至二時間位應用するだけであるし、尙又此の簡単な

器械であるから各個人に應じて變化せしめる必要もないからである。この床几療法の彎曲矯正効果は顯著なるものがある。

(田邊抄)

新式人工太陽燈

Dr. Heinz Wendt 述(Die Umschau in Wiss. u.

Technik XL Jg. 43. H.)

自然の日光光線の治療作用の發見に就ては丁抹人フィンゼン氏に感謝する所大なるものがある。

自然の日光光線の健體及び病體に對する意義に就ては吾人の知識は廣められた。中にもベルンハルド、ドルノ、ロリール等に負ふ所が多い。然し技術及びこれを實際醫學への應用は疎遠にされてゐた。フィンゼンミ殆ど同時代に日光線療法の根本的發見は獨逸に於て殊にバツハ及びクロマイヤー氏によりて所謂水銀蒸氣燈の完成に端を發する。兎角するうちに生物學的に日光の有效な光線部分は紫外線領域に覺めらるべきものなることが確定した。けれども水銀蒸氣燈の光線には日光線のすべての長波部分のみならず殊に生物學上、最も有意義なるべき紫外線の長波部分を缺如してゐる。それでこれを自然の日光に酷似せしめようこの努力が拂はれたが徒勞に歸した。然し水銀蒸氣燈は可成り廣く行はれた。

フィンゼンの造つた炭素弧光燈即ち所謂「フィンゼン」燈は日光線に最も類似したものである。そして今日尙ほその改良されたものは治療界に於て殊に狼瘡の治療に愛用されてゐる。

幾多の技術的、物理學的及び生物學的實驗を経て今や炭素弧光燈は實際の豫望を満足せしめ得るやうなものが醫學領域に進出するに至つた。圖に示すは Albertus-Sonne 「アルベルツス」太陽光線はその實に於て「スペクトルム」は自然の日光「スペクトルム」に甚だよく似てゐる。炭素の適切な附加によりて「アルベルツス」太陽の光線は自然日光の赤外線から紫外線までの光線の全領域を包括せしめ得られる。即ち此の光線の利點は太陽類似の光線であつて、而も適當に炭素を選択すれば人工的に紫外線部分を自然日光